

## 授業科目 プレゼンテーション演習

【担当教員名】 本間 久文		対象学年	1	対象学科	情報
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
		○	○	○	○
【概要・一般目標：GI0】 プレゼンテーションは、自分の主張したい内容を相手に伝えるための手段の一つで、最近では主張内容を専用のソフトウェアを利用して、プロジェクトを通じて披露することが多くなっている。しかし、言いたいことをすべて網羅することが多いため、相手に判りやすいかといった点では改良すべきことがある。ここでは、実践を通じて、相手に判りやすく表現するための表現方法について学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. プレゼンテーションについて理解し、説得力のなるプレゼンテーションができるようになる。 2. プレゼンテーションに必要な表現や説明技術について、実践を通して理解し、応用できる。 3. プレゼンテーションソフトを用いて、自己表眼ができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	発表技術 1			1	講義・演習
2	発表技術 2			1	講義・演習
3	プレゼンテーションの目的			1,2	講義
4	プレゼンテーションの組立			1,2	講義
5	プレゼンテーションの内容			1,2	講義
6	プレゼンテーションの構成			1,2	講義
7	プレゼンタの役割			1,2	講義
8	発表技術			1,2	講義
9	視覚資料の種類と見せ方			1,2	講義
10	プレゼンテーションのトレーニング			1,2	講義・演習
11	質疑応答の技術			1,2	講義・演習
12	プレゼンテーションの見せ方			1,2,3	講義・演習
13	自己紹介の作成			1,2,3	演習
14	プレゼンテーションの実演 1			1,2,3	演習
15	プレゼンテーションの実演 2			1,2,3	演習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		自己表現の技法	畑山浩昭、為田英一郎、荒木晶子 他	実教出版	2013・2,000円＋税
		プレゼンテーションの教科書	脇山真治	日経 BP 社	2009・2,800円＋税
その他の資料					
【評価方法】 出席状況（10%）、発表内容（50%）、課題内容（40%）によって評価する。			【履修上の留意点】 積極的に発言することを期待する。		